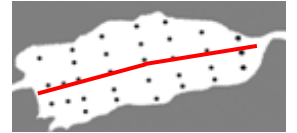


2024年9月 宍道湖 塩分・溶存酸素

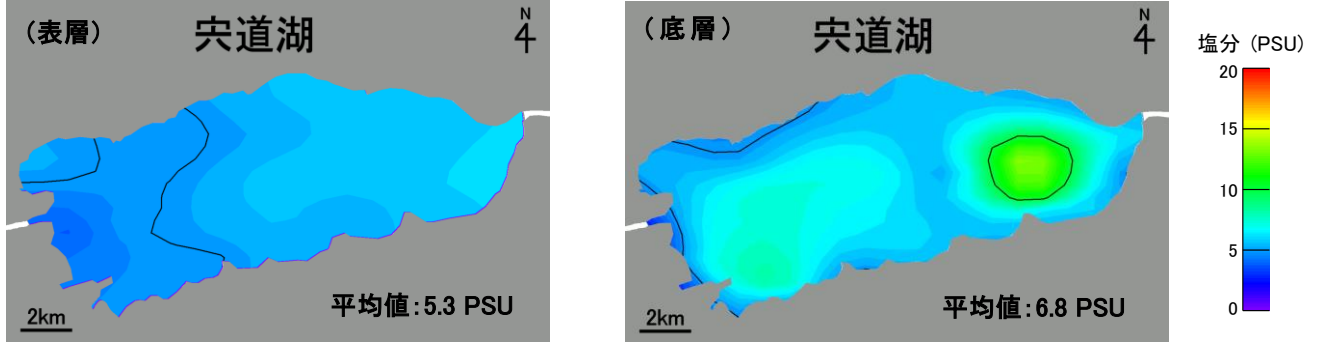
水域	調査日	天候	海況	水温 (表層平均)
宍道湖	2024年9月6日	晴れ時々曇り	西 1 m/秒 → 西 5 m/秒	29.0 °C

● 調査地点 — 鉛直ライン



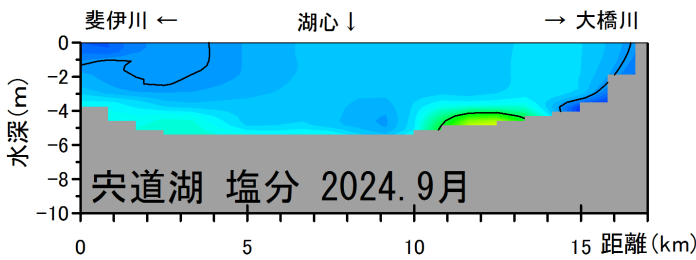
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



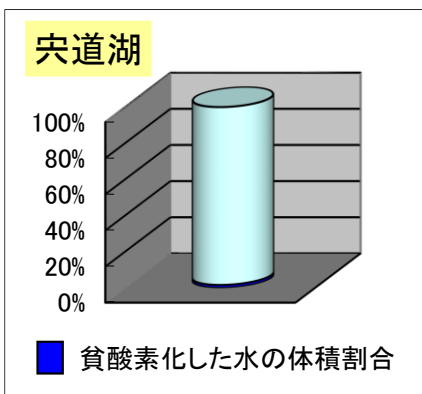
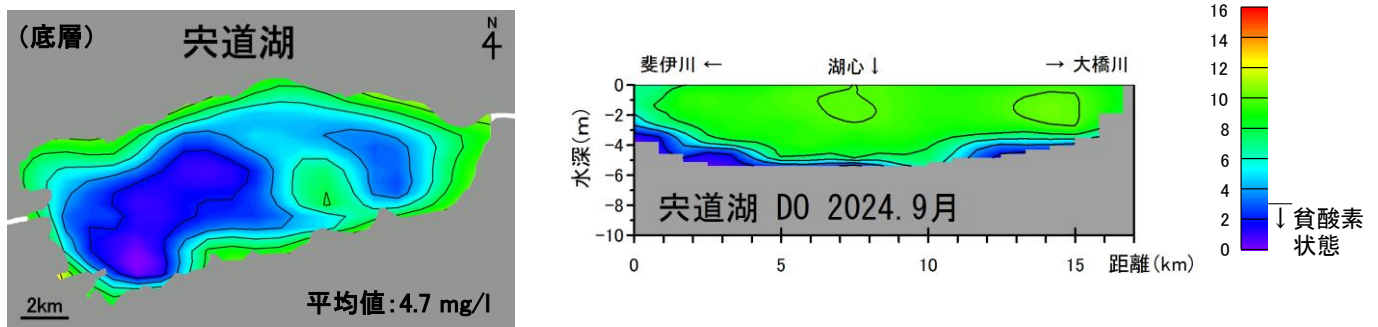
※塩分濃度のスケールは2020年6月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布



表層塩分の値は、斐伊川河口付近で低い値を示し、東側ほど徐々に上昇していました。底層では、出雲空港沖と玉湯沖に2つの塩分水塊が確認され、特に玉湯沖では高い値を示しました。また、平年値と比較すると、表層は平年よりやや高め、底層は平年並みとなりました。(『R6 年度水質状況』を参照)。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



溶存酸素濃度は、出雲空港沖から湖心付近にかけての底層付近で低い値を示しました。また、玉湯沖でも小規模の貧酸素水塊がみられました。3 mg/l 未満の貧酸素水の体積割合は1.7%で、湖底面積に占める貧酸素水の割合は25.9%となりました。

貧酸素水体積割合は、先月から大きく減少し、平年並みの値となりました(『R6 年度水質状況』を参照)。

● R6 年度水質状況

